

令和8年度学校要覧

義務教育学校

山梨市立笛川学園

地域が創る学校
地域を創る学校



山梨市立笛川学園グランドデザイン 2026

校訓
『立志勤学』

高い志（夢や目標）を立て、それに向かって熱心に勉学や修行に励むこと。
立志：将来の目標を立て、それを成し遂げようと決意すること。
勤学：勉学や修行に勤しむ（いそしむ）こと。
この校訓を実現するために大切なこと（自主自立・自主自律）
　自らの意志で主体的に判断・行動し、自らの規範に従い自らをコントロールし行動すること。

学校教育目標

故郷を愛し　故郷に誇りをもち　自ら未来を創造し切り拓く
たくましくしなやかな心をもった児童生徒の育成

○学校教育目標の具体的な捉えと身に着けさせたい資質・能力（コンピテンシー）

確かな学力・探究心
課題を発見し論理的に思考する力。情報を多角的に分析し主体的に判断する力。

社会参画・リーダーシップ
社会や世界に関心を持ち、より良い社会の形成に主体的に参画する態度。

協働と共生
多様な人々と関わり、他者を思いやり、共に成長し未来を創る力。

メタ認知・自己効力感
自分の学びを客観的に捉え、「自分ならできる」という自信を持つ力。

主体性とレジリエンス
自ら学びを深め、困難を乗り越え、粘り強く最後まであきらめない力。

目　指　す　学　校　像

- ○ 信頼される学校
- ○ あたたかく、思いやりに包まれた学校
- ○ 児童生徒がいきいきと活動する学校
- ○ 安心・安全で、学びの場にふさわしい環境が整えられた学校
- ○ 地域と連携し、地域と共に歩む学校

目指す児童・生徒像

- ・自ら考え、判断し、行動できる児童生徒
- ・主体的に学びに向かう児童生徒
- ・自分を大切にし、思いやりのある児童生徒
- ・困難を乗り越え、粘り強く最後まであきらめない児童生徒
- ・健康に留意し、進んで心と体を鍛える児童生徒

目　指　す　教　師　像

- ・信頼される教師
- ・明るく、前向きに物事に取り組む教師
- ・日々に実践を大切にする教師
- ・向上心のある教師
- ・保護者や地域、外部機関との連携を大切にする教師

⇒特別支援教育に関する知識理解・技能の標準装備

特　色　あ　る　取　組

○9年間を見通した教育課程の編成
○笛川 PBL を中心としたカリキュラム開発とマネジメントの充実
○「使える英語」を目指した外国語教育の充実（実用英語検定準2級以上取得できる英語力の育成）
○異文化交流
○ICT を活用した「個別最適」「協働的な学び」の充実
○学校運営協議会との連携強化⇒「地域学校協働本部」を活用した教育活動

山梨市立笛川学園　令和8年度学校経営の方針

1 校訓 「立志勤学」　　令和8年4月1日制定

高い志(夢や目標)を立て、それに向かって熱心に勉学や修行に励むこと

◆立志: 将来の目標を立て、それを成し遂げようと決意すること
◆勤学: 勉学や修行に勤しむ(いそしむ)こと

この校訓を実現するために大切なこと(自主自立、自主自律)
自らの意志で主体的に判断・行動し、自らの規範に従い自らをコントロールし行動すること

2 学校教育目標
「故郷を愛し　故郷に誇りをもち 自ら未来を創造し切り拓く　たくましくしなやかな心をもった児童生徒の育成」

【学校教育目標の具体的な捉えと身に着けさせたい資質・能力】

〇故郷を愛し故郷に誇りを持ち
・社会や世界への関心をもち、より良い社会の形成に参画する態度
〇自ら未来を創造し切り拓く
・メタ認知能力の育成
・情報を多角的に分析し、主体的に判断・表現する力　批判的能力
・課題を発見し、解決に向けて論理的に思考する力
・自ら学びを深め、主体的に学習に取り組む力(学習習慣、レジリエンスなど)
〇たくましくしなやかな心をもった
・リーダーシップ、コミュニケーション能力
・他者と協働し、多様な人々と関わり、共生する力
・レジリエンス(困難やストレスに直面した際に、しなやかに適応し、立ち直る力＜回復力・復元力＞の育成
・自分と相手、両方の気持ちや価値を同じように大切にする姿勢(自他尊重)
・自己有用感の積み重ねから自己肯定感を高める

現実的楽観性: 状況を的確に捉え、ポジティブな側面を見出す
精神的柔軟性: 多角的に物事を捉え、柔軟に対応する
関係構築力: 信頼できる他者とのつながりを持ち、サポートを得る(SOSの出だせる力)
自己効力感:「自分ならできる」という自信を持つ(個の状況に対応)

3 学校経営方針

(1)職員の創意・工夫により、開かれた・特色ある・信頼される学校づくりに努める
(2)生徒理解を深め、一人一人のよさや可能性が生かされるように努める
(3)教職員としての資質・能力の向上を図り、信頼される教育活動の実践・展開に努める
(4) 家庭・地域との連携により、望ましい教育活動の展開に努める
(5) 特別支援教育の安定により学校全体の安定を図る

4 目指す学校像

(1) 信頼される学校(教師・生徒・保護者・地域のコミュニケーション)
(2)あたたかく、思いやりに包まれた学校
(3) 児童生徒がいきいきと活動する学校
(4)安心・安全で、学びの場にふさわしい環境が整えられた学校
(5)地域と連携し、地域と共に歩む学校

5 目指す児童・生徒像

(1) 自ら考え、判断し、行動できる児童生徒
(2) 主体的に学びに向かう児童生徒
(3) 自分を大切にし、思いやりのある児童生徒
(4) 困難を乗り越え、粘り強く最後まであきらめない児童生徒
(5) 健康に留意し、進んで心と体を鍛える児童生徒

6 目指す教師像

(1) 信頼される教師
(2) 明るく、前向きに物事に取り組む教師
(3) 日々の実践を大切にする教師
(4) 向上心のある教師
(5) 保護者や地域、外部機関との連携を大切にする教師

本校に所属する教職員全員が、特別支援教育に関する知阪理解・技能および心情の標準装備

7 学校経営の努力点と具体策

（1）確かな学力の育成を図る

①全国学力学習調査や総合学力調査を活用し、生徒の客観的な学力および学習状況を的確に把握し、個に応じた指導方法の工夫・改善を行う
②主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善・授業づくりに努める
③言語活動の充実やICT機器の活用を図り、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得及び思考力・判断力・表現力等の育成を図る
④授業づくりの7つの視点（やまなしスタンダード）の深化に努める
⑤授業と家庭学習との有機的なつながりを図り、学校や家庭における学習習慣（自分で計画をたてての学習）が確立するよう努める
⑥TTや少人数授業など授業形態を工夫し、個に応じた学習指導を実施するとで、基礎・基本の定着を図り、より高い学力を身につけさせられるような支援を実施していく

（2）豊かな心の育成を図る

①心のふれあいを深め、互いに認め合い、楽しく、心の居場所のある学校づくりを図る
②児童・生徒理解を深め、個に応じた指導に努めるとともに、いじめや不登校などの未然防止、早期発見・早期対応を図る
③人間としてよりよい生き方を求める道徳的実践力を育む
④読書活動やボランティア活動等、さまざまな活動を通し豊かな心の育成に努める
⑤個を生かす学級づくりに努める
⑥学校・家庭・地域社会との連携を深め「しなやかな心」（自他を敬愛する心）の育成に努める
⑦専門機関との連携を図り、様々な場面で困り感をかかえる生徒および家庭の支援を行い、児童・生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを行う
⑧特別支援教育の知識や技能を教員一人一人が着実に身に着け、個々の生徒の状況に柔軟に対応した適切な支援ができるように努める

（3）「生きる力」を育む教育課程の編成を図る

①学校や地域の実態、生徒の発達段階や特性に応じた内容編成とする
②指導内容や方法等について、小学校との連携を推進し、9年間を見通した教育課程の改善に努める
③社会の変化に対応するため、情報教育・ITC活用、環境教育、郷土学習、農業体験、キャリア教育、福祉教育、健康・安全教育、国際理解教育の教育活動への適切な位置付けを図る
④特別支援教育の推進へ向け、校内委員会と全職員及び関係諸機関との有機的連携を積極的に図る
⑤山梨市内小中学校のパイロットスクールであるという自覚と責任を全職員で共有し、外部機関との連携を強化しカリキュラム開発に積極的かつ主体的に取り組む

（4）健やかな身体の育成を図る

①教育活動全体を通して、体力・健康・安全・食に関する指導の充実を図る
②生活安全・交通安全・災害安全について計画的に指導し、安全意識の高揚と実践力を育むとともに、安全管理体制の充実を図る

（5）信頼される学校づくりの推進を図る

①家庭・地域社会との交流を促進し、協力体制の確立に努める
②学校評価の結果公表をはじめ情報の提供に努める
③個人情報の管理の徹底を図る
④学部間の連携を強化し、9年間を見通した教育課程の工夫を行い、義務教育学校として特徴的な取組を推進する
⑤地域の人材や資源を活用するなど、地域の教育力を生かした教育実践を図る
⑥コミュニティスクールを推進し、地域と信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童・生徒の健全育成を行う

8　教育目標を達成させるための基本方針

（1）確かな学力の育成
（2）　探究活動（笛川PBL; 階上学）の充実
（3）キャリア教育の充実
（4）進路指導の充実
　　9年間終了後、「行ける学校」への進学でなく「行きたい学校への進学」をかなえる進路指導
（5）　人権教育、道徳教育の充実（NIEの取組とも連携して）
（6）特別活動の充実
（7）　家庭、地域、専門機関、企業との連携強化
（8）校内研修の充実（カリキュラム開発・特別支援教育・教育課題・コンプライアンス）
（9）児童生徒の主体性や考えを尊重した生徒指導（根拠が伴う生活指導）

9　特色ある教育活動

（1）　外国語（英語）教育の充実;9年修了時英語検定準2級以上取得を目標
（2）　中学部放課後学習支援
（3）　長期休業中及び中学部定期試験前の学習支援
（4）　山梨県男女共同参画・多様性推進課と連携したジェンダーフリー教育の推進
（5）　異文化交流
（6）学校運営協議会における地域学校連携本部の有効活用と『地域を創る学校』の実践

令和8年度　校内研究の概要

Ⅰ　研究主題

「未来を切り開く『自ら探究する児童生徒』の育成」
～確かな基礎学力と9年間のカリキュラムを軸にした
授業づくりを通じて～

Ⅱ　研究の内容と方法

1　研究の内容

（1）基礎学力、知識・技能の習得
→自分の未来にはばたき、「探究」という冒険に出るための装備（武器）
希望の進路実現が叶う結果を出すための授業づくり・学習支援

（2）カリキュラム開発
→9年間迷わずに進むための地図（ルート）

（3）PBL及び総合的な学習の時間の核になる、探究活動
→装備と地図を使って挑む冒険そのもの（実戦）　学習と社会の繋がり

2　研究の方法

（1）指導方法のシェア

基礎学力定着を観点に以下の内容を行う
①模擬授業研修
②校内講師研修会
③授業改善取組発表会

（2）探究スキルのステップアップ表の作成（9年間）

「出口」から逆算した系統表の作成
【例】「問いを立てる力」「課題を設定する力」の育成の場合、
低学年では「不思議探し」
高学年では「比較・分類」
中学生では「多角的な考察」 と、
学年に応じた探究スキルのステップアップを明確にする

（3）PBLについての実践研究

①取組の報告会と授業計画の打ち合わせ
②外部講師を招聘しての研修会

学校沿革の概要

元号	年	月	
昭和	43	4	牧丘町三富村中学校組合立笛川中学校開校
平成	3	3	笛川中学校　校訓「立志勤学」制定
	3	8	笛川中学校　新校舎竣工式
	5	3	旧山梨市・牧丘町・三富村が合併し、新しい「山梨市」が誕生
	28	4	牧丘第一小学校、牧丘第二小学校、牧丘第三小学校、 三富小学校の4校が統合し、笛川小学校開校
令和	6	7	山梨市学校のあり方検討委員会　設置
	7	4	義務教育学校設置検討委員会　設置
	7	9	山梨市学校設置条例改正（笛川学園を明記）
	8	4	山梨市立笛川学園開校

令和8年度　山梨市立笛川学園　児童生徒数

	学級名	男子	女子	合計
1年	1年1組	6	7	13
	ことのね（情）	2		2
2年	2年1組	7	10	17
	こだま（知）	1		1
	ことのね（情）	2		2
3年	3年1組	10	5	15
	はばたき（病）	1		1
4年	4年1組	8	17	25
	ことのね（情）	1		1
	つつみ（肢）		1	1
5年	5年1組	18	3	21
	ことのね（情）	2		2
6年	6年1組	9	9	18
	かがやき（聴）		1	1
合計	交流学級	58	51	109
	ことのね（情）	7		7
	こだま（知）	1		1
	はばたき（病）	1		1
	つつみ（肢）		1	1
	かがやき（聴）		1	1
	小学部	67	53	120

	学級名	男子	女子	合計
7年	7年1組	16	11	27
	はなかげ（知）	2	1	3
	やまばと（情）	2	1	3
	計	20	13	33
8年	8年1組	5	10	15
	はなかげ（知）	0	1	1
	やまばと（情）	5	0	5
	計	10	11	21
9年	9年1組	12	11	23
	はなかげ（知）	0	0	0
	やまばと（情）	1	0	1
	計	13	11	24
合計	交流学級	33	32	65
	はなかげ（知）	2	2	4
	やまばと（情）	8	1	9
	中学部	43	35	78

全校	男子	女子	合計
	110	88	198

令和8年度　山梨市立笛川学園　教職員一覧

No.		職名	氏名	旧所属
1		校長	三井　保	笛川中学校
2		副校長	廣瀬　剛	笛川小学校
3		教頭	小串　吾郎	笛川中学校
4	転入	教頭	岩下　城	県義務教育課
5		小学部教務主任	檜垣　貴子	笛川小学校
6		低学年主任	小椋　恵美	笛川小学校
7		1学年担任	栁澤　晴子	笛川小学校
8		2学年担任	鶴田　望	笛川小学校
9		中学年主任	保坂　千恵子	笛川小学校
10	転入	3学年担任	小岱　玲花	富士見小学校
11	転入	4学年担任	堀内　陸矢	大国小学校
12		5学年担任	向山　澄	笛川小学校
13		6学年担任	武居　拓巳	笛川小学校
14		特別支援学級担任	金子　佐由美	笛川小学校
15		特別支援学級担任	小林　宏美	笛川小学校
16		特別支援学級担任	相澤　拓実	笛川小学校
17		特別支援学級担任	遊免　阿吏沙	笛川小学校
18	転入	特別支援学級担任	梶原　裕子	山梨小学校
19		通級指導教員	新谷　雅美	笛川小学校
20	転入	通級指導教員	松岡めぐみ	加納岩小学校
21		養護教諭	丸山　沙緒里	笛川小学校
22		事務主任	久保寺　章夫	笛川小学校
23		講師	三橋ひかる	笛川小・中学校
24		講師	堀内　美香	笛川小学校
25		司書・講師	齊藤　久美子	笛川小学校
26		外国語専科教員	辻　磨衣子	笛川小学校
27		支援員	駒田　覚	笛川小学校
28		支援員	安藤　麻衣	笛川小学校
29	転入	NLT	ヤナルダー メメット　ツナ	日下部小学校
30		用務員	雨宮　社	笛川小学校

No.		職名	氏名	旧所属
31		配膳員	高橋　清美	笛川小学校
32		中学部教務主任	中島　直美	笛川中学校
33	転入	中学部副教務主任	丸山　正史	山梨北中学校
34		7学年主任 特別支援学級担任	広瀬　竜太	笛川中学校
35		7学年担任	雨宮　正倫	笛川中学校
36		7学年所属 特別支援学級担任	大村　公紀	笛川中学校
37		8学年主任	武井　松里子	笛川中学校
38		8学年担任	萩原　啓	笛川中学校
39	転入	8学年所属 特別支援学級担任	伊藤　雅貴	丹波中学校
40		9学年主任	平井　祥子	笛川中学校
41		9学年副主任	長坂　俊彦	笛川中学校
42		9学年担任	名取　政也	笛川中学校
43		特別支援教育・通級指導教室 コーディネーター	永関　亜美	笛川中学校
44		養護教諭	有可　美里	笛川中学校
45	転入	事務主任	砂山　玲央	塩山中学校
46		講師	坂井　聡	笛川中学校
47		講師	市來　渚	笛川中学校
48		支援員	廣瀬　かおり	笛川中学校
49		支援員	半田　博志	笛川中学校
50	転入	栄養職員	藤森　裕子	市子ども子育て課
51	転入	司書	千葉　あゆ美	市立図書館
52		用務員	大村　芳美	笛川中学校
53		配膳員	廣瀬　行子	笛川中学校
54		スクールカウンセラー	小泉　里菜	笛川小・中学校
55		スクールバスドライバー	笹本　豊	笛川中学校
56		スクールバスドライバー	辻　茂穂	笛川中学校
57		スクールバスドライバー	廣瀬　広	笛川中学校
58		スクールバスドライバー	山本　一毅	笛川小学校
59		スクールバスドライバー	雨宮　雄二	笛川小学校
60		スクールバスドライバー	楠　康延	笛川小学校

◆開校前年度までの取組紹介

校訓「立志勤学」

笛川学園のチャレンジ　５つの柱

1. 共に生きる
学年の枠を超えた
交流による
思いやりの心
多様性の認め合い

2. 小学校の教科担任制
専科の先生による
専門性の高い指導
「分かる授業」
「楽しい学校」

3. 課題解決型学習
郷土について考え
地域の課題に挑む
「笛川PBL」

4. キャリア教育
民間企業の講師
社会人のマナー
確かな職業観

5. 放課後学習支援
先生や大学生が
手厚く学習を
サポート

New　Challenge

柱1：共に生きる ― 「縦の繋がり」が育む思いやりの心

笛川学園では、年齢の壁を越えた「縦割り活動」を日常的に取り入れています。上級生はリーダーシップを実践で学び、下級生は安心感の中で学校生活を送ります。



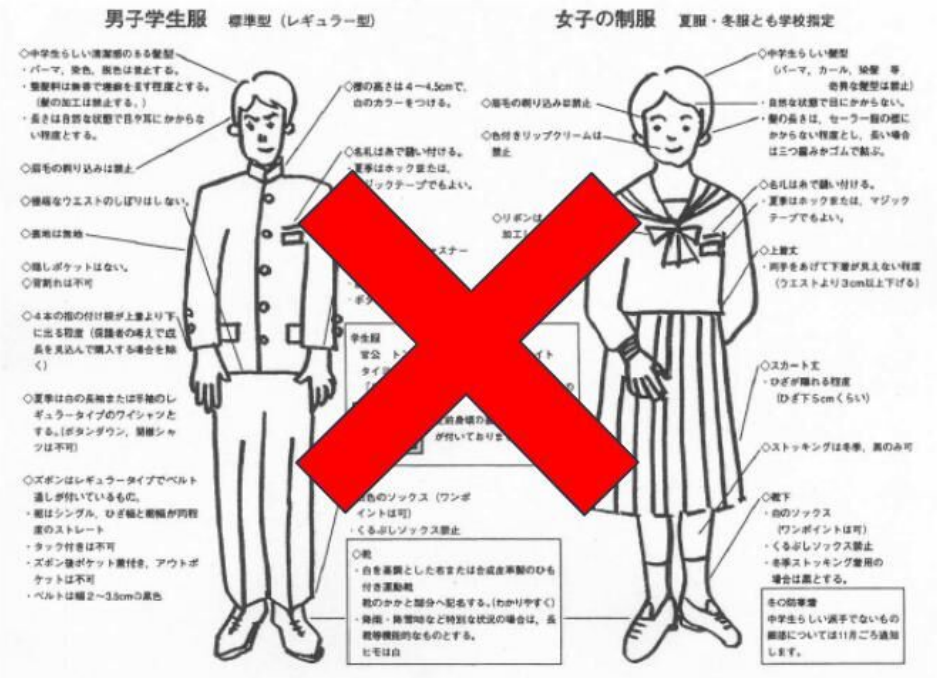


協働
共生



- 笛川フェスタ: 「学校をよくするためには」をテーマにした全校討論会やスポーツレクを実施。
- 縦割り給食: 学年を超えたグループで準備から食事までを共にし、日常的なコミュニケーションを促進。
- 全校集会（焼き芋集会など）：小・中の枠を超えた全校の交流で「思いやりの心」を身につける。

多様性を認め合おう!!　説明のつかないルールは無くそう!!



生徒会が主体となり、身だしなみのルールを廃止しました

柱2： 小学校における「教科担任制」

基準	従来の小学校	笛川学園の体制
指導の専門性	一人の担任が全教科を広く指導。	各教科の専門免許を持つ教員が、専門性が高い授業を行う。
児童の視点	常に同じ先生との関わりの中で授業が進められる。	教科ごとに多様な先生と関わり、多角的な視点と新鮮な刺激（ワクワク感）がある。
中学校への接続	中学校進学時に、指導環境や方法が大きく変わる（中１ギャップの要因）。	小学校段階から教科担任制に慣れることで、中学校段階へ切れ目なく移行。

実施教科：算数（6年）、理科・音楽・家庭科（５・６年）、図工（１～６年）



令和７年度　笛川小学校　小学生へのアンケートより

「分かる授業」「楽しい学校」

専科の先生の授業は
楽しいですか？
（45件の回答・小学5/6年）



「教科によって先生が違うと、いつも同じ先生でつも同じ先生ではなくてワクワクする！」

「今年の音楽、理科、図工は私の一番好きな教科。もっと授業の回数を増やしてほしい！」

専科の先生の授業は
分かりやすいですか？



「凄いわかりやすいし、どの授業も面白くて最高」

「去年よりも専科の先生が増えて嬉しい。色々な先生に教えてもらえて楽しい」

柱3：課題解決型学習（笛川PBL）―「シンキングサイクル」を回す

【令和7年度の取組】
小学5年生から中学2年生の4学年が縦割り班を組み、課題解決型学習＜笛川PBL＞に取り組み、「私たちの郷土」をテーマに、「継・創・守・育・広・繋」の6つの小テーマで、自ら課題設定を行い、探求活動を行いました。





Educational Blue　抜粋

提案1：水素で走る自動運転バスの導入

根拠：CO2削減と運転手不足の解消。年間予算までシミュレーション（約1億円＋維持費）し、論理的に提案。



Nurturing Green　抜粋

提案2：空き家（古民家）マッチングアプリの開発

根拠：県外からの新規就農者や移住者をターゲットにし、人口減少と農業の担い手不足を同時に解決するアプローチ。



◆総合的な学習の時間（笛川PBL）を核として、教科横断的に取り組む
◆山梨市企画推進課の職員をアドバイザーとして授業に招き、実際の社会のデータを元に課題解決策を考え、市長へ自分たちの考えを提案　【社会科　第２学年　地域の活性化】

令和７年度 文部科学省 リーディングDXスクール事業 指定校

文部科学省学校DX戦略アドバイザー監修　笛川小学校・笛川中学校　全国公開授業

【校内】



教室でのディスカッション
ICTを活用し、情報・思考過程の共有

Digital Bridge



Google Meetを活用して
リアルタイムで授業を全国公開

【校外】



地域人材の活用、市役所・地域施設でのフィールドワーク

笛川PBLを中心に、アナログとのバランスを大切にして、小・中学校の枠を超えてGoogleのクラウドを活用し、児童生徒の考えや意見交換が深まるような活動にチャレンジしてきました。

柱4：キャリア教育 ― 社会のプロフェッショナルから学ぶ

8年生までは体験的な学びと地域・企業連携を通じてコミュニケーション能力を伸ばし、
9年生では自身の生き方や進路を深く考えます。

Hospitality



接遇研修会（株式会社チアアップ様）

- 社会に出た際に必須となるマナー、主体性、対人コミュニケーションの基礎を実践的に習得。 **山梨県男女共同参画・多様性推進課 と連携**

Finance



金融教育（第一生命保険株式会社様）

- ライフサイクルゲームを通じた体験型学習。将来の経済観念やリスク管理など、自立に向けた「生きた知識」を吸収。

柱５：放課後学習支援 ― 「行ける学校」から 「行きたい学校」へ



課題 ：
山間地にあり、徒歩や自転車により自力で学習塾へ通塾することが困難な立地条件。

笛川の解決策：
「放課後学習会」と「山梨市オンデマンド授業」のベストミックスにより、立地条件の課題克服にチャレンジ。

【学校運営協議会や学生NPOとの連携】

２学期の計３０時間、放課後学習会を実施。本校教員に加え、学校運営協議会や学生NPOとの連携により、大学生もサポートに入り、手厚く支援。



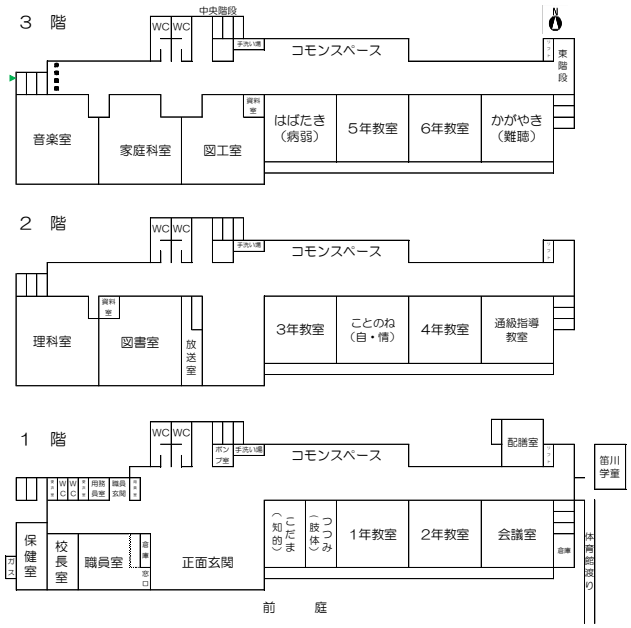
【DXによるオンデマンド授業】

やまなし寺子屋「土曜塾」。 山梨県公立高校入試の解説動画をいつでもどこでも視聴可能。自分のペースで止めたり、リピートしたり、自己調整学習が可能。

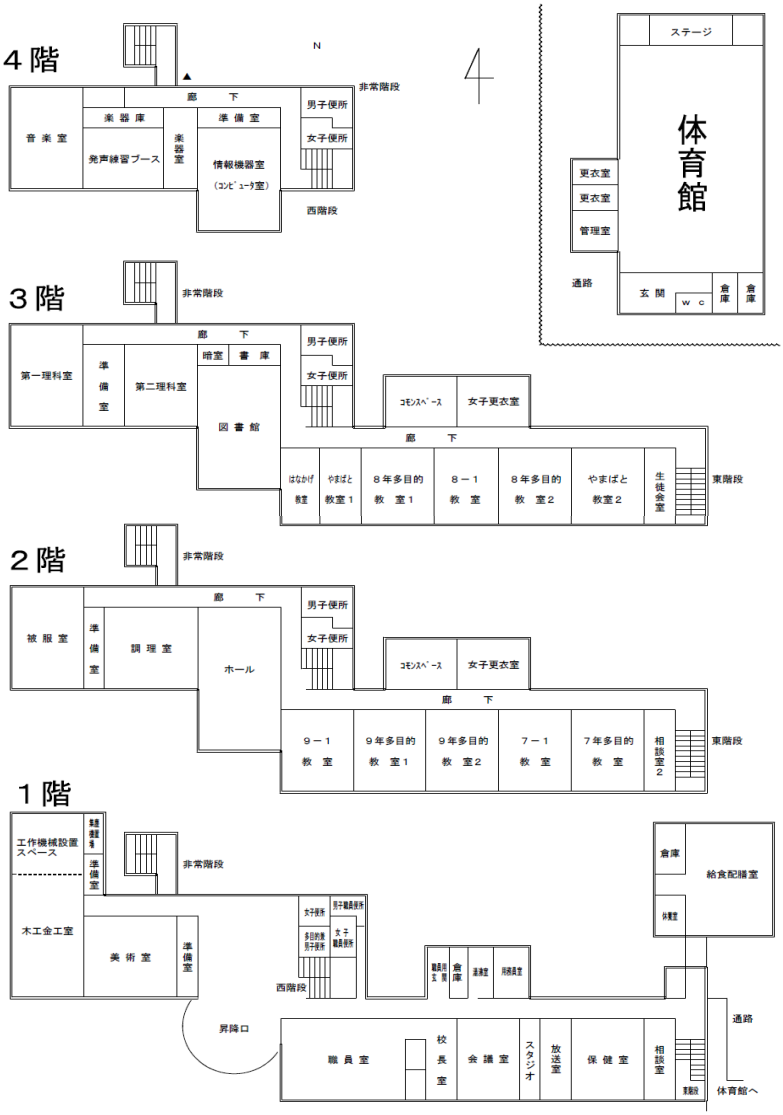


【校舎配置図】

(1)小学部



(2)中学部



【所在地】

◆小学部校舎
〒404-0013
山梨県山梨市牧丘町窪平1200番地
TEL: 0553-35-2015

◆中学部校舎
〒404-0013
山梨県山梨市牧丘町窪平1100番地
TEL: 0553-35-2204




TG
笛川学園